



令和元年 7 月 12 日

「解体された被爆建物の壁面の一部」の展示会を開催**- 展示会初日には説明会を実施 -**

日時：7月22日（月） 14時～15時

場所：広島大学霞キャンパス 医学資料館 1階ロビー

「解体された被爆建物の壁面の一部」について展示会および説明会を、下記のとおり行いますのでご案内します。

広島アンデルセン（旧店舗）は、大正14年に三井銀行広島支店として建てられ、被爆後改修を経て、1967年からベーカリーとして活用されてきました。建物や設備の老朽化・耐震性能に課題があったため建替えが決まり、2018年7月に解体に着手されました。当展示会では、被爆建物の記憶の継承および被爆建物に対する理解の促進を目的とし、解体された壁の一部を展示します。

当展示会は、広島大学原爆瓦発送之会会長の嘉陽礼文が企画し、展示会の初日には同人による説明会を実施します。

※ 2020年8月にオープン予定の広島アンデルセン（新店舗）では、解体前の建物の東側から切り出した壁の一部をはめ込む形で保存されます。今回展示する壁は、旧店舗の履歴調査のため2017年12月に切り出した物で、その一部を譲り受けたものです。

【展示会】

日 程：7月22日（月）～8月22日（金）

※ 展示会初日は、以下のとおり嘉陽礼文による説明会を実施

場 所：広島大学医学資料館 1階ロビー（広島市南区霞1-2-3）

【説明会】

日 時：7月22日（月）14時～15時

集合場所：広島大学医学資料館 1階ロビー

説明者：広島大学原爆瓦発送之会 会長 嘉陽礼文

内 容：展示企画に至った背景、広島アンデルセン建物の歴史、展示被爆建物壁面の解説

出席者：嘉陽 礼文（広島大学原爆瓦発送之会 会長）

：廣瀬 詠太郎（通 訳 広島大学総合科学部総合科学科2年）

：治田 遥花（被爆者対応 広島大学総合科学部総合科学科2年）

：広島大学PEACE学生交流プログラム留学生数人

：舟入むつみ園から被爆者の方々3～4人（当日の体調によって参加者数に変動あり）

【展示物 1 被爆建物壁面】



本通りに面した二階窓枠付近の壁材水平断材 153 cm×64 cm×18 cm、重量約 800 kg
アスベストは不使用（調査済み）

【撮影 アンデルセン・パン生活文化研究所 2018年7月17日】

【展示物 2 被爆建物壁材コア（2個）】



本通りに面した二階窓枠付近の壁材コア
長さ約 30 cm×直径 20 cm、重量約 20 kg

【撮影 嘉陽礼文 2018年7月17日】

【展示物である壁面の切り出した位置の説明】



赤枠部分が今回展示の壁の位置

【建物外観撮影 アンデルセン・パン生活文化研究所 2015年10月】

【参考】建物詳細

名称：(被爆時 帝国銀行広島支店) (解体時 広島アンデルセン)

爆心地から：360m

所在地：広島市中区本通り 7-1

竣工時期：1925年(大正14年)2月

製造/階数：鉄筋コンクリート造、地上2階

設計者/施行者：長野宇平治事務所

(参考資料：広島市編『広島原爆戦災誌第三巻』昭和46年発行)

【お問い合わせ先】

広島大学国際交流グループ 嘉陽礼文

TEL：090-1185-1620 FAX：082-424-4545

発信枚数：A4版 4枚(本票含む)

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

「解体された被爆建物の壁面の一部」の展示会を開催
- 展示会初日には説明会を実施 -

説明会日時：7月22日(月) 14時～15時

集合場所：広島大学医学資料館 1階ロビー
(広島市南区霞1-2-3)

ご出席

ご欠席

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____ (計名)

電話番号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、7月18日(木)12時までにご連絡願います。